

調査へのご協力をお願い

あいさつ文

《調査票のご記入にあたって》

- それぞれ該当する項目をご記入、もしくは○をつけてください、
- 調査の結果については、公表の可能性を考慮してご回答をお願いします。（学校名は非公表）
- 本調査票のご回答について、データ入力の方が都合のよい場合は、様式データを提供いたしますので、下記アドレスまで連絡してください。
- ご回答は、〇月〇日（〇）までにお寄せください。

《調査票のご提出先》

郵便の場合…〒522-0041

彦根市平田町 670 番地（彦根市福祉センター） 子ども・若者課

データの場合…kodomowakamono@ma.city.hikone.shiga.jp（Eメールアドレス）

問1 貴校（園）について教えてください。

貴校（園）の名称			
代表者名		調査票記載者名	

問2 貴校（園）における日ごろの業務の中で、経済的に困窮するなど困難を抱えている家庭（困難な家庭）の子どもや保護者に接することがありますか。

1. ある	2. ない（問7へ）
-------	------------

問2-1 問2で「1. ある」と答えた機関にお聞きします。困難な家庭では、具体的に、どのような状況がありますか。（該当する番号すべてに○）

<ol style="list-style-type: none">1 授業料の支払いができない。（保育料の支払いができない。）2 経済的な理由で退学（退園）した。3 遠足や修学旅行などの参加費の支払いができない。4 給食費の支払いができない。5 弁当を持ってこない。6 学級費の支払いができていない。7 部活動・クラブ活動にかかる費用の支払いができていない。8 制服・体操服などを買うことができない。9 お風呂に入れていない。10 清潔な服装をしていない。11 夕食を食べていない。12 不登校（保育所・幼稚園においては、保護者が連れてこない）13 子どもと連絡がとれない。14 保護者と連絡がとれない。15 その他 （具体的に）
--

問4 貴校（園）において困難な家庭の子どもや保護者に対する支援を行う中で、特に悩んだり困難だったことは、どのようなことですか。（該当する番号すべてに○）

- | |
|----------------------------------|
| 1 相談する場所がなかった・わからなかった。 |
| 2 支援を行いたくても予算がなかった。 |
| 3 支援を行うノウハウがなかった。 |
| 4 子どもと連絡がとれなかった。 |
| 5 保護者と連絡がとれなかった。 |
| 6 教員（保育士）が多忙で対応できなかった。 |
| 7 スクールソーシャルワーカーが不足し、対応できなかった。 |
| 8 学校（園）でどこまでかかわる必要があるのかが、わからなかった |
| 9 特定の家庭を特別に支援することへの批判が懸念された。 |
| 10 学校（園）内に対応できる体制がなかった。 |
| 11 その他（具体的に） |

問5 現在、貴校（園）において困難な家庭の子どもや保護者に対する支援を行う上で、連携している機関や団体などはありますか。（該当する番号すべてに○）

- | | | |
|------------------|------------------|---------------------------------|
| 1. 医療機関 | 9. 高校 | 17. 教育委員会 |
| 2. 弁護士会 | 10. 大学 | 18. オアシス |
| 3. 民生委員・児童委員 | 11. 保護者会・PTA | 19. あすくる彦根 |
| 4. 湖東健康福祉事務所 | 12. 児童福祉施設 | 20. ハローワーク |
| 5. 彦根子ども家庭相談センター | 13. ボランティア・NPO団体 | 21. 地域若者サポートステーション |
| 6. 警察 | 14. 福祉事務所 | 22. 民間企業 |
| 7. 保育所・幼稚園 | 15. 健康推進課 | 23. その他（ ） |
| 8. 小・中学校 | 16. 発達支援室 | 24. 特にない |

問6 現在、貴校（園）において困難な家庭の子どもや保護者に対する支援を行う上で、課題になっていることは何ですか。（該当する番号すべてに○）

- 1 相談する場所がない・わからない。
- 2 支援を行いたくても予算がない。
- 3 支援を行うノウハウがない。
- 4 子どもと連絡がとれない。
- 5 保護者と連絡がとれない。
- 6 教員（保育士）が多忙で対応できない。
- 7 スクールソーシャルワーカーが不足している。
- 8 学校（園）でどこまでかかわる必要があるのかが、わからない。
- 9 特定の家庭を特別に支援することへの批判が懸念される。
- 10 学校（園）内に対応できる体制がない。
- 11 その他（具体的に _____)

問7 今後、困難な家庭の子どもや保護者に対し、どのような支援が必要であると思いますか。（該当する番号すべてに○）

- 1 保護者が家にいないときに子どもを預かる場やサービスの提供
- 2 生活や就学のための経済的補助
- 3 給付型の奨学金制度の整備
- 4 進路や生活などについてなんでも相談できるところ
- 5 仲間と出会え、一緒に活動できるところ
- 6 自然体験や集団遊びなどいろいろな活動機会の提供
- 7 地域における子どもの学習の場所の提供
- 8 学校の放課後や土曜日の学習の支援
- 9 夏休み期間中の教室開放（自習室）
- 10 読み書き計算などの基礎的な学習への支援してくれるボランティアサービス
- 11 会社などでの職場体験などの機会の提供
- 12 仕事に就けるようにするための就労に関する支援
- 13 子どものみで無料もしくは安価で食事ができる場所の提供
- 14 進学や資格を取るための学習の支援
- 15 放課後児童クラブ保育料の減免や学級費などへの助成
- 16 スクールソーシャルワーカーの増員
- 17 関係機関による支援のネットワークの整備
- 18 その他（ _____)

問8 問7で答えていただいた今後必要な支援に取り組むため、連携が必要な機関や団体などがありますか。(該当する番号すべてに○)

1. 医療機関	9. 高校	17. 教育委員会
2. 弁護士会	10. 大学	18. オアシス
3. 民生委員・児童委員	11. 保護者会・PTA	19. あすくる彦根
4. 湖東健康福祉事務所	12. 児童福祉施設	20. ハローワーク
5. 彦根子ども家庭相談センター	13. ボランティア・NPO団体	21. 地域若者支援センター
6. 警察	14. 福祉事務所	22. 民間企業
7. 保育所・幼稚園	15. 健康推進課	23. その他()
8. 小・中学校	16. 発達支援室	24. 特になし

問9 今後、困難な家庭の子どもや保護者に対する支援全般のため、彦根市としてどのような対策が必要だとお考えですか。

問10 最後に、子どもの貧困やその対策について、ご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、恐れ入りますが、平成28年●月●日(●)までに、郵送かメールにてご返信いただきますよう、よろしく願いいたします。